

一般社団法人日本遺伝性腫瘍学会
2021年第2回 理事会 議事録(案)

日 時：2021年10月15日(金) 15:00～18:00

場 所：web開催 (zoom)

出席予定者：理事長 石田 秀行
副理事長 青木 大輔 鈴木 眞一
理 事 赤木 究 石川 秀樹 大住 省三
川崎 優子 下平 秀樹 杉本 健樹
田中屋宏爾 田村智英子 平田 敬治 吉田 輝彦
監 事 武田 祐子 田村 和朗

司法書士 寺本 俊孝

事務局：平田智子 石坂和子 内山覚巳

編集事務局：岡田雅子

Webに理事13名、監事2名全員が出席し、出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態にあり、本会が成立することが確認された。

【報告・審議事項】

1. 庶務報告

事務局から配布資料にもとづき、会員数、新規入会者、会費納入状況(2021年9月30日現在)について資料提示・説明があった。また、長期年会費未納者に関して、リストを作成し、理事メールにて確認していただくこととなった。入会推薦書に関して、印鑑を削除し、自署のみとすることとなった。

2. 理事長報告

石田理事長より配布資料にもとづき、登記完了、学会会計の事務局管理開始、一般財団法人未来医療推進機構との協定に関して報告された。

審議事項として、学術集会会計の学会会計への合算、E-learningのプラットフォームの移行、出版計画に関して、報告・審議された。テキストの作成に関して、専門医制度小委員会のメンバーを中心に希望者を募り、専門医・一般会員から一部メンバーを補充しテキスト作成委員会を組織した。委員長に山口達郎先生を任命、担当理事を田中屋理事とすることが報告された。また、出版計画の見積もりについて、へるす出版で再度検討をし、改めて通信理事会で決議することとなった。学会設立30周年記念事業の提案について、委員長に石川理事が決定し、3月に正式に委員会として発足することとなった。

3. 第27回学術集会報告

赤木会長より、配布資料にもとづき、第27回学術集会の報告があった。余剰金は学会本部へ寄付され、がんゲノム・データベース委員会で遺伝子検査あるいは遺伝子検査結果の解釈のために利用することが承認された。

4. 第28回学術集会準備状況報告：田中屋会長より、配布資料にもとづき、準備状況の報告があった。

5. 第 29 回学術集会準備状況報告：杉本会長より、準備状況の報告があった。

6. 各種委員会報告・審議

①総務委員会：平田担当理事

配布資料にもとづき、2022 年度理事選挙日程に関して報告があった。また、理事選挙施行細則の改訂について承認された。選挙管理委員会の委員長に、JA 福島厚生連白河総合病院の大木進司先生が決定した。

日当・謝金に関する内規（案）、学術集会会計の一般会計との一本化を見据えた余剰金に関する取り決め（案）について承認された。

②財務委員会：青木担当理事

配布資料にもとづき、学術集会の会計 1 本化について、予算書・収支決算書の提示があった。

③遺伝性腫瘍セミナー委員会：吉田担当理事

配布資料にもとづき、2021 年度（第 24 回）遺伝性腫瘍セミナーの準備状況について報告があった。また、特別会計の会計合算について次回の理事会で定款細則を改訂することとなった。

④会則委員会：鈴木担当理事

理事選挙施行細則の改訂版が本日の日付で施行されることが報告された。

⑤編集委員会：下平担当理事

配布資料にもとづき、「遺伝性腫瘍」の発刊状況、投稿論文審査状況について報告された。

審議事項として、今後の投稿勧誘、特集について、編集委員会委員の変更について承認された。

⑥学術・教育委員会：赤木担当理事

学術集会の予算にて、教育コンテンツ 11 本を作成したことが報告された。

⑦専門医・HTC/FTC 制度委員会：田中屋担当理事・川崎担当理事

配布資料にもとづき、田中屋担当理事から 2021 年度 専門医・HTC 認定試験の進捗状況、専門医・研修施設の更新、正規指導医申請、e-learning の運用状況について報告された。

審議事項として、専門医制度 規則・細則・修練カリキュラムの改定、専門医制度 研修施設の認定に関わる手数料の廃止、臨床遺伝専門医制度委員会 山田崇弘先生 アドバイザー委員への推挙、受験料の返還について承認された。

川崎担当理事より、HTC 認定試験準備状況、家族性腫瘍カウンセラーの審査予定状況について報告された。

⑧将来検討委員会：石田担当理事

新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたところで、会員へのアンケート調査を開始する予定であることが報告された。

⑨ガイドライン委員会：大住担当理事

遺伝性乳癌卵巣癌(HBOC)診療ガイドライン等が、当学会ホームページのガイドラインリンク集に公開したことが報告された。

⑩COI 委員会：大住担当理事

配布資料にもとづき、「遺伝性腫瘍研究の利益相反状態開示に関する指針」の改訂について承認された。

⑪倫理審査委員会：杉本担当理事

日本遺伝性腫瘍学会への演題応募における倫理的手続きに関する指針について報告された。応募演題のカテゴリ分類について、第 28 回学術集会の時にまずは申告からしていただき、暫定的に運用をすることとなった。

倫理指針について学会発表のみならず、論文投稿についても編集委員会と共有していくこととなった。
また、症例報告の際に記載する家系図（家族歴）について、再度委員会で検討することとなった。

⑫広報委員会：川崎担当理事

配布資料にもとづき、2021年度のニューズレター配信予定状況について報告があった。

審議事項として、医療者向けページ（資料1）は、各委員会に担当箇所についてご確認いただき、掲載内容の確認を定期的に行い、加筆・修正が必要な場合には、広報委員会および事務局へご連絡を頂くこととなった。また、一般向けサイトの構成（案）（資料2）について承認された。

⑬国際委員会：田村智英子担当理事

報告事項なし

⑭遺伝カウンセリング委員会：杉本担当理事

報告事項なし

⑮がんゲノム・データベース（GDB）委員会：赤木担当理事

教育コンテンツ3本を作成したことが報告された。また、今年度の予算に反映されていなかったこともあり、活動費がないため、第27回学術集会の余剰金を活動費としていくことが報告された。

⑯作業部会委員会：石川担当理事

配布資料にもとづき、各部会の進捗状況が報告された。

また、審議事項として、作業部会の内規変更（助成金は部会に年15万円振込み、毎年度末に決算書を作業部会委員会が監査を行い、理事会に報告。助成金は3年間持越し可）、LFS部会の2022年度から3年間の継続について承認された。

7. その他

特になし

8. 次回理事会日程について

第3回 2022年3月4日（金）15:00～